

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

平成29年11月28日（火）に行われた第18回の会には、地域住民の方、保護者の方、学校職員、民生児童委員、ボランティア従事者、福祉関係者などが参加されました。

「防災」実行委員からの提案

第11回会議では、「防災」をテーマにした取組みについてアイデア出しを行いました。それを元に、実行委員会ですべて具体的な取組案を検討しました。

「災害が起きたと想定して、避難してみよう」というイベントの実施

- イベントの内容：
- 避難所に行ってみる。
 - 自宅に備えてある災害備品の持ち出しを試みる。
 - 災害備品の中身をチェックしてみる。
 - 災害食を食べてみる。

◆十小地域づくりの会で出された意見

- ・市にある「防災マニュアル」「避難所運営の手引き」「防災計画」等を共有してはどうか。
- ・各家庭単位で、どんな備えが必要か知り、備えておくことも大事。
- ・「十小エリア」という地域単位でできる備えもあるのではないか。
- ・避難所運営の経験のある方から体験談を聞いたり、知識のある方を講師に招くなどもよいのでは。
- ・男女共同参画センターが行った「防災ことはじめ」のように、他市と合同で何か行うのもよいのでは。
- ・十小地域は、新座市とも隣接している。近隣市とつながり協力することもできるのではないか。
- ・防災防犯課の人に来てもらって、話を聞きたい。



～お気をつけ下さい！！～

- 特殊詐欺が増えてきています！
 - ・身内を名のり、助けてと訴える「オレオレ詐欺」
 - ・市役所から払い過ぎ分を返す「還付金詐欺」
 - ・未払いが生じていますというショートメールがくる「架空請求」
 - ・確実にもうかる投資を持ちかける「金融商品等取引名目の詐欺」 など
- 「詐欺対策用留守番電器」は効果あり！
電気屋で2万円くらいで購入できる。
65歳以上の方は消費生活センターで貸出可
(無料、ただ接続は各自で行う必要あり)

実行委員会では、こんな意見も出されていました

- ・防災マップをつくって配布してはどうか。
→費用はどうする？方法はどうする？
- ・警察や消防も一緒に防災訓練しては。
- ・避難所運営協議会立上げが必要ではないか。
- ・学校で行っている引取訓練に合わせて、防災イベントを行ってはどうか。
- ・十小のある地区班では避難訓練を行ってどうかと検討している。連携してはどうか。
- ・避難行動要支援者の対応も大事な視点。
→支援が必要な人の把握をどうしていく？

次回までに、実行委員会を開催し、意見をまとめていく予定です。十小地域で安心して暮らしていけるよう、一緒に考えていきましょう。

話し合いのサイクル

参加者同士の情報交換や地域を知る

地域の課題や現状について話し合う

課題解決に向けた具体的取組み

活動の継続

世話人会の発足

次回開催は12月20日（水）13：15～ 清瀬第十小学校 2階けやきにて
どなたでも参加できます！ぜひおいでください！